

Backup Exec ブログ

[VOX](#) > [ブログ](#) > [Backup Exec のブログ](#)

足を地に着けて、頭は雲 (クラウド) の中に



DavidWright



EMPLOYEE

ベリタスは過去 2 年間、Backup Exec をクラウドマーケットに着実に適合させようと長い道のりを歩んできました。ベリタスは最近、Amazon 社、Microsoft 社、Google 社とのパートナーシップを発表していますし、本日は業界をリードするソフトウェアデファインドストレージソリューション、Veritas Access との新たな統合を発表できることを嬉しく思います。Veritas Access は、汎用の x86 ハードウェアでソフトウェアデファインドストレージ (SDS) ソリューションを活用することにより、お客様のワークロードのパフォーマンスを最大限に高め、運用コストを削減し、データを確実に保護するように設計された製品です。今回の統合によって、クラウドベースのアーキテクチャを導入するお客様が、この SDS ソリューションの利点を完全に実現できるようになります。

Veritas Access は、汎用ハードウェアまたはクラウドをベースとして構築できる、非構造化データのためのソフトウェアデファインド型のスケールアウト NAS (ネットワーク接続型ストレージ) ソリューションです。さまざまなプライマリワークロードおよびセカンダリワークロード向けに、耐障害性、複数のプロトコルを介したアクセス、および複数のクラウドプラットフォーム間でのデータのやりとりを定義する機能を備えた高パフォーマンスなストレージバックエンドを提供します。

Veritas Access は、Backup Exec 用のオブジェクトストレージとして、AWS 互換の S3 プロトコルに対応しています。ベリタスはこの機能をバックアップワークフローに直接組み込むことで、ユーザーの生産性とビジネスの俊敏性を促進します。古くなっているテープライブラリを低コストのクラウドターゲットに簡単に置き換えることができ、長期的なデータ保存での可用性を高めます。この統合により、以下のような重要な機能をお客様にご利用いただけます。

- お客様がデータ保存の要件を満たしながら、オンプレミスでのストレージコストを削減できます。
- 長期的なデータ保存 (LTR) を確実なものにできます。
- お客様がオンプレミスとパブリッククラウドの間でワークロードを移行できます。

Backup Exec ブログ

- 時間のかかるテープ管理が不要になります。
- バックアップデータ用の費用対効果の高いセカンダリストレージソリューションが提供されます。

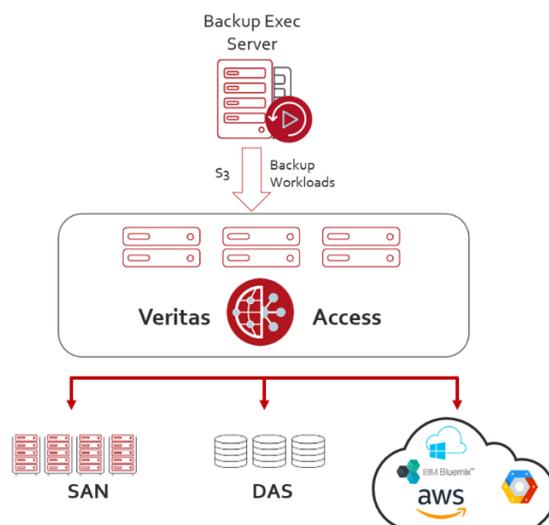
ベリタスの目標は、お客様が自ら選んだクラウドプロバイダを利用してクラウドを安全に導入し、デジタル変革を進められるようにすることです。このニーズに対応することこそがベリタスの戦略の基礎であり、Backup Exec はその実現に貢献します。

結論: Veritas Access との統合は、テープバックアップから離れつつもバックアップデータを長期的に保存するために、費用対効果の高いソリューションを求めている Backup Exec のお客様のニーズに対応します。

企業はこれにより、自動化され耐障害性を備えた LTR の代替手段を使用してコンプライアンス上の目標を達成できます。このソリューションでは、データストレージを低コストの汎用ハードウェアまたはクラウドにインテリジェントに階層化することで、バックアップ業務の複雑さが軽減され、複数のレガシーバックアップシステムを保持する必要が解消されます。

この統合は、お客様がデータを円滑にクラウドに移行し、管理するための支援という道筋において、Backup Exec がまた重要な 1 歩を刻んだことを意味します。詳細については、Backup Exec の[ホームページ](#)および Access の[ホームページ](#)をご覧ください。

決断は慎重に、購入の前にぜひお試しください。Backup Exec と Veritas Access はどちらも、SDS の利点を体験



Backup Exec ブログ

できる [60 日間の無料体験版](#)をご利用いただけます。この 2 つのオファーにより、わずかな初期リスクでクラウドストレージを簡単に試用できます。